

環境経営レポート 2020

2019-4-1～2020-3-31

Vol.5

発行：2020年8月31日



株式会社 神戸ポートリサイクル

650-0045 兵庫県神戸市中央区港島九丁目13番地

CONTENTS

 環境経営理念	3
代表のごあいさつ	4
 組織の概要	5
事業の紹介、施設の概要及び許可、許可品目一覧	6-9
 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	10
売上高及び処理量の推移	11
 主な環境負荷の実績	12
 環境経営目標及びその実績	13
 環境経営計画の取組と結果&評価	14
 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟などの有無	19
 緊急事態対応訓練	20
 代表による全体の評価と見直し・指示	21
 これまでの環境活動のご紹介	22

環境経営理念



私たち、株式会社 神戸ポートリサイクルは、神戸市によって策定された環境政策「エコテック 21 構想」のモデル事業として 2002 年 4 月に設立された、港湾バースに隣接したリサイクル施設です。

当社は自動車関連廃棄物等の再資源化をはじめ、パートナー企業とのネットワークにより廃棄物の適正処理・資源循環サービスに取り組んでおります。

現在、廃棄物に関する環境問題への取り組みは、環境汚染の防止のみならず、「リサイクル」をはじめとした資源循環型社会の形成において論じられるようになってきました。単に廃棄物を処理するのではなく、いかに有用な「資源」として再び地球へ還元するかを考えていくことが最も重要です。

これからも私たち神戸ポートリサイクルは、港湾という特色ある立地を活用しつつ、リサイクル事業の発展とともに地球環境および社会に貢献できる事業を展開するよう努力をいたします。



環境経営方針

1. 環境関連法規、地域の条例・協定を遵守し、コンプライアンスを実現するとともに、地域社会とのコミュニケーションを図り事業を展開していきます。
2. 廃棄物の適正処理・リサイクル及び、事業系一般廃棄物の排出量削減に努めます。
3. グリーン購入による環境負荷の低減に努めます。
4. 社有車・重機類の経済的運転及び、電力消費量の抑制により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
5. 水資源の節約に努めます。
6. 場内緑化及び場内外美化活動を推進し、緑豊かで清潔な事業所づくりに取り組みます。
7. 災害時における、災害廃棄物処理対応に貢献できるよう努めます。
8. 環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、社内外に公開します。

制定：2015年4月1日

改訂：2020年4月1日

株式会社 神戸ポートリサイクル

代表取締役 奇尾 延夫 



代表者のごあいさつ



平素は、皆様からのひとかたならぬご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

ごみ問題の取り組みは、いまや環境汚染の防止のみならず、資源問題と併せて論じられるようになってきました。すなわち、ごみ・廃棄物を有用な資源へと転じる「資源循環システム」の構築です。こうした資源循環型社会へのニーズを背景に、株式会社神戸ポートリサイクルは、神戸市によって策定された環境政策「エコテック 21 構想」のモデル事業として、民間 10 社の出資の下、2002 年 4 月に設立されました。

また、神戸港が国土交通省による総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に一次指定されたことにより、港湾のバース隣接地における先進的なリサイクル施設となっています。施設の最大の特徴はバースに隣接していることです。

車よりも環境への負担が小さい海上輸送を容易に行なえるため、現在、国が進めるモーダルシフトにも大きく貢献できることでしよう。港湾という特色ある立地を活用しつつ、リサイクル事業の発展とともに地球環境に、社会に、貢献できる事業展開を図ってまいります。



代表取締役 寄尾 延夫



組織の概要



事業所名	株式会社 神戸ポートリサイクル
所在地	兵庫県神戸市中央区港島九丁目1 3番地
連絡先	TEL (078) - 303 - 0505 FAX (078) - 303 - 0607
会社ホームページ	http://www.kpr-japan.com/
創立年月日	2002年4月15日
代表者	代表取締役 寄尾 延夫
資本金	8,550万円
事業期間	4月～翌年3月末
従業員数	25名(男性:20名 女性:5名)
環境管理責任者	代表取締役 寄尾 延夫(兼任)
E A 2 1 事務局	メフタ 恵美・松井 渉・佐藤 守・橋本 志帆
事業内容 (認証範囲)	産業廃棄物の中間処理業務(破碎、選別、減容固化) 産業廃棄物の収集運搬業務 一般廃棄物(木くず)の中間処理業務
株主構成	大栄環境株式会社 井本商運株式会社 住井運輸株式会社 共栄株式会社 株式会社神戸製鋼所 株式会社シマブンコーポレーション 株式会社ビッグモーター 日鉄住金物流株式会社

2020年3月31日現在



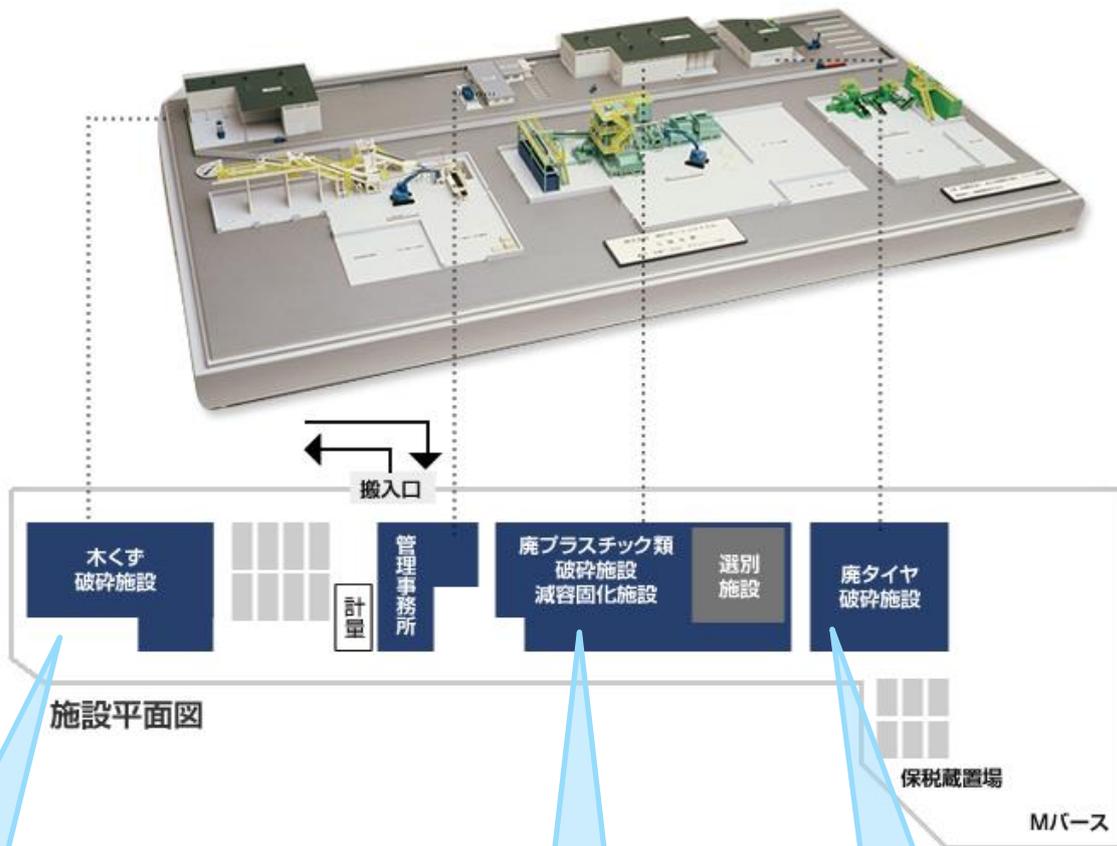


事業の紹介



(処理フロー&処理施設、収集車両、許可内容・品目、積替え保管)

【施設紹介】



施設平面図



木くず破碎機



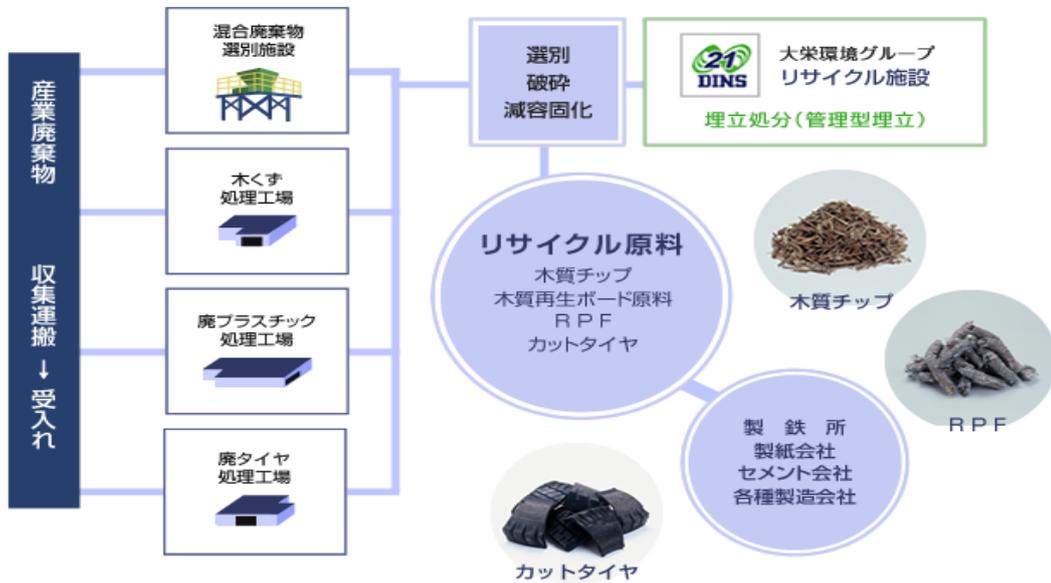
安定供給機



タイヤ破碎機



【処理フロー】



【施設の概要及び許可】

	産業廃棄物	一般廃棄物
施設の種類	① 選別施設 (届出受理番号：第 1175 号) ② 廃プラ破碎施設 (許可番号：第 2046 号、第 2047 号) ③ 木くず破碎施設 (許可番号：第 2045 号) ④ 廃タイヤ破碎施設 (許可番号：第 2043 号、第 2044 号) ⑤ 減容固化施設 (届出受理番号：第 1080 号)	③木くず破碎施設 (許可番号：第 1509 号)
処理能力	① 100.8m ³ /日 ② 36.0 t/日 (廃プラスチック類) ③ 45.6 t/日 (木くず) ④ 24.0 t/日 (廃プラスチック類) ⑤ 16.0 t/日 (廃プラスチック類)	③45.6 t/日
廃棄物の種類 (許可品目)	① 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 ② 廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ③ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ④ 廃プラスチック類 ⑤ 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	③木くず

【積替保管施設】

積替え・保管場所	積替保管面積	保管上限	品目
神戸市中央区港島九丁目 13 番地	114 m ²	160.8 m ²	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

【許可内容】

管轄	優良認定	許可証	許可番号	許可年月日	許可有効年月日
神戸市		産業廃棄物処分業	第 6920098859 号	2003 年 2 月 13 日	2023 年 5 月 10 日
神戸市	—	一般廃棄物処分業	神戸市許可一廃第 44 号	2019 年 3 月 2 日	2021 年 3 月 1 日
神戸市		産業廃棄物収集運搬業	第 6910098859 号	2003 年 12 月 10 日	2023 年 5 月 10 日
兵庫県		産業廃棄物収集運搬業	第 02801098859 号	2003 年 1 月 8 日	2023 年 5 月 18 日
大阪府		産業廃棄物収集運搬業	第 02700098859 号	2016 年 7 月 25 日	2023 年 7 月 24 日

【許可品目一覧】

許可品目		中間処理	収集運搬		
		神戸市	神戸市	兵庫県	大阪府
産業廃棄物	廃プラスチック類	○	○	○	○
	木くず	○	○	○	○
	紙くず	○	○	○	○
	金属くず	○	○	○	○
	ゴムくず	○	○	○	○
	ガラス陶磁器くず	○	○	○	○
	繊維くず	○	○	○	○
	がれき類	○	○	○	○
一般廃棄物	木くず	○			

【収集・搬出車両】



車両形式	台数	最大積載量	環境保全対策
キャブオーバ (平ボディ車)	1台	3,950kg	シートにて飛散防止
キャブオーバ (ユニック付)	1台	2,000kg	シートにて飛散防止
バン (ウイング車)	1台	2,950kg	密閉式
脱着装置付コンテナ 専用車	1台	3,750kg	シートにて飛散防止
2tダンプ	1台	2,000kg	シートにて飛散防止
1.5tダンプ	1台	1,500kg	シートにて飛散防止
25tダンプ	3台	10,300kg	シートにて飛散防止

【重機の一部ご紹介】

車両形式	クラス	台数
ユンボ	0.45 m ³	2台
	0.7 m ³	1台
ショベルローダー	1.8 m ³	1台
フォークリフト	3.5 t	1台
フォークリフト	1.5 t	1台

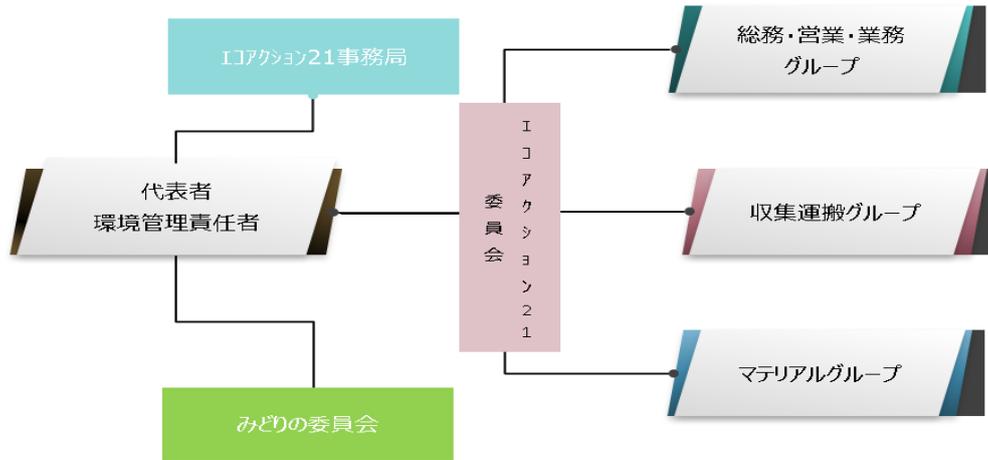


わが社オリジナルの省燃費運転
マニュアルを作成して、重機・
運搬車両の低燃費運転を日々
心掛けているのじゃ！





E A 21 組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長） 環境管理責任者	<p>環境経営方針の策定及び見直し。</p> <p>人的資源及び専門的な技能、技術、資金の準備並びに配分。</p> <p>環境経営管理責任者・EA21委員の任命。EA21マニュアルの承認。</p> <p>環境経営目標・環境経営計画書・実績一覧表の承認。</p> <p>環境経営目標の取組評価と今後の具体策の承認。</p> <p>EA21委員会への出席及び議題の審議。環境経営レポートの確認・承認。</p> <p>環境への取組の自己チェック評価の承認。</p> <p>環境教育訓練計画の承認。緊急事態の承認。環境関連法規順守状況の承認。</p> <p>問題点是正処置に関する承認。</p> <p>環境コミュニケーションの対応に関する承認。</p>
Eアクション事務局	<p>環境への負荷の自己チェックの作成・環境への取組の自己チェックの作成。</p> <p>環境経営目標一覧の作成。</p> <p>環境経営活動計画、環境経営活動計画実績一覧表の取りまとめ。</p> <p>環境経営目標の取組評価と今後の具体策の取りまとめ。</p> <p>事業所全体に関わる環境経営教育訓練計画の策定及び実施。</p> <p>事業所全体に関わる緊急事態の特定。EA21マニュアルの作成及び維持管理。</p> <p>環境関連法規の取りまとめ特定、監視及び評価。</p> <p>文書、記録の管理。環境経営レポートの作成。等々</p>
Eアクション委員会 (各グループ 責任者)	<p>各担当グループの環境経営システム全般を維持・管理する。</p> <p>目標計画の策定。環境経営教育訓練の策定及び実施。</p> <p>緊急事態の特定。EA21委員会への出席及び議題の審議、議事録作成。</p> <p>問題点是正処置の実施。等々</p>
取組項目担当者	<p>環境経営活動計画の実施及び是正・改善を遂行。</p> <p>環境関連法規の遵守・実施及び監視・評価。</p>
全従業員	<p>環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を認識し、自主的・積極的に環境活動へ参加。</p>



売上高及び処理量の推移



項目		単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
売上高		百万円	390	500	626	693	866	1,092
従業員数		名	19	19	21	21	21	23
敷地面積		m ²	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592
延床面積		m ²	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909	2,909
廃棄物処理量	産業廃棄物処理量	トン	18,508	27,352	32,730	34,850	43,567	46,873
	一般廃棄物処理量		204	32	15	13	8	851
	処分量合計		18,712	27,385	32,745	34,863	43,575	47,724
	収集運搬量		3,665	3,824	4,032	4,549	4,706	4,228

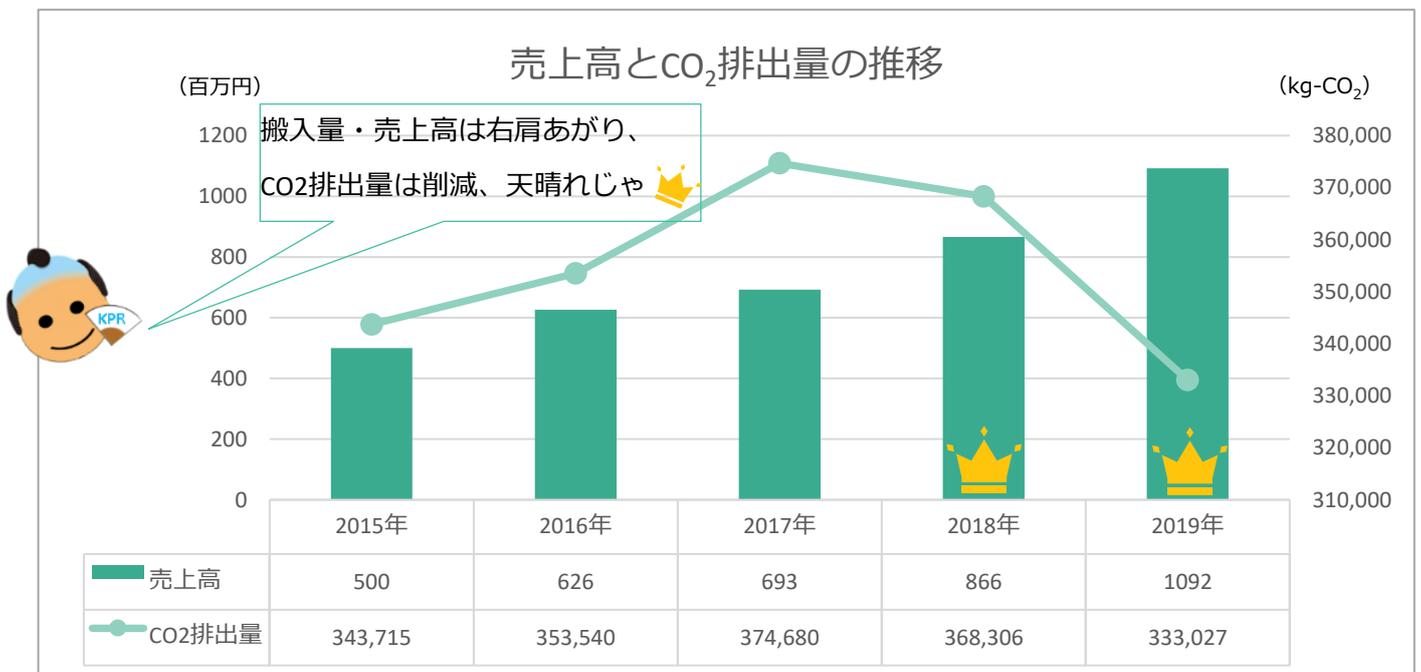
※数値は一の位で四捨五入しています。



主な環境負荷の実績推移



項目		単位	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
CO ₂ 排出量		Kg-CO ₂	343,715	353,540	374,680	368,306	333,027
ガソリン	総使用量	ℓ	3,130	2,699	2,349	1,998	1,939
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	7,266	6,266	5,454	4,639	4,501
軽油	収集車両使用量	ℓ	23,620	23,162	30,366	34,942	33,719
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	61,987	60,785	79,689	91,699	88,489
	重機使用量	ℓ	38,282	39,326	56,579	56,393	47,290
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	100,465	103,205	148,483	147,994	124,105
重油	総使用量※①	ℓ	21,627	22,942	7,597	1,060	—
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	58,601	62,164	20,585	2,872	—
灯油	総使用量※②	ℓ	90	138	27	73	68
	CO ₂ 排出量	Kg-CO ₂	244	343	66	182	168
電気	購入電力量※③	kWh	224,071	234,975	234,246	235,252	225,221
	CO ₂ 排出量※④	Kg-CO ₂	115,172	120,777	120,402	120,920	115,763
一般廃棄物排出量※⑤		kg	187	143	150	132	118
水使用量※⑥		m ³	1,527	1,984	1,618	1,331	1,497



※①2018年6月以降重油の使用がなくなった為軽油使用 ※②2015年度以前は購入量、2016年度以降は実使用データで取組
 ※③2016年度以降は自社記録データ電力量（毎日従業員で計測）で取組（2016年7月、子メーター×10個設置）
 ※④CO₂排出係数は2012年度数値0.514 kg-CO₂/kWhを用いて算出 ※⑤対象は厨芥ゴミ
 ※⑥自社記録データ使用量（毎日従業員で計測）で取組 ※⑦小数点以下四捨五入しています。



環境経営目標及びその実績



		2019年4月～2020年3月			中長期目標			
		目標	実績	評価	2020年度	2021年度	2022年度	
二酸化炭素排出量削減	社有車 燃費の向上(ガソリン)							
	2015年度 実績値比2.0% 削減	燃費(km/ℓ)	13.74	14.21	○	2015年度 実績値比 2.5%削減	2015年度 実績値比 3.0%削減	2015年度 実績値比 3.5%削減
		CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	7,120.7	4,501.0				
	収集運搬車両 燃費の向上(軽油)							
	2015年度 実績値比2.0% 削減	燃費(km/ℓ)	5.81	6.55	○	2015年度 実績値比 2.5%削減	2015年度 実績値比 3.0%削減	2015年度 実績値比 3.5%削減
		CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	60,746.9	88,489.1				
	重機 燃費の向上(軽油)							
	2015年度 実績値比2.0% 削減	燃費(ℓ/t)	1.995	0.988	○	2015年度 実績値比 2.5%削減	2015年度 実績値比 3.0%削減	2015年度 実績値比 3.5%削減
		CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	94,945.3	124,105.0				
	灯油 使用量の削減							
2015年度 実績値比2.0% 削減	灯油使用量(ℓ)	76.4	67.5	○	2015年度 実績値比 2.5%削減	2015年度 実績値比 3.0%削減	2015年度 実績値比 3.5%削減	
	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	219.5	168.2					
電気 使用量の削減 ※① (CO₂排出係数は2012年度数値0.514 kg-CO₂/kWh)								
2016年度 実績値比0.3% 削減	事務所使用電力(kWh)	33,563.0	32,687.3	○	2016年度 実績値比 0.4%削減	2016年度 実績値比 0.5%削減	2016年度 実績値比 0.6%削減	
	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	17,251.4	16,801.3					
	灯油使用量(ℓ)	6.76	4.67					
	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	103,284.0	104,118.3					
上水道使用量削減	上水 使用量の削減							
	2015年度 実績値比2.0% 削減	上水使用量 処理量原単位(ℓ/t)	52.9	41.6	○	2015年度 実績値比 2.5%削減	2015年度 実績値比 3.0%削減	2015年度 実績値比 3.5%削減
		上水使用量(ℓ)	1,496.6	2,090.5	参考			
受託廃棄物の再資源化率を向上させ、廃棄物排出量を抑制 ※②								
全体57%以上	再資源化率(%)	57.0	75.6	○	全体 58%以上	全体 59%以上	全体 60%以上	
廃棄物排出量削減	事業系一般廃棄物の排出量を削減							
	2015年度 実績値比2.0% 削減	事業系一廃排出量(kg)	182.8	118.4	○	2015年度 実績値比 2.5%削減	2015年度 実績値比 3.0%削減	2015年度 実績値比 3.5%削減
	用紙類の排出量を削減							
2016年度 実績値比1.5% 削減	コピー用紙使用枚数(枚)	55,910	52,184	○	2016年度 実績値比 2.0%削減	2016年度 実績値比 2.5%削減	2016年度 実績値比 3.0%削減	
グリーン購入の推進による環境負荷の低減								
73%以上	グリーン購入率(%)	73.0	75.8	○	74%以上	75%以上	76%以上	
場内緑化・場内外美化活動の推進による緑豊かで清潔な事業所づくり								
草花の栽培及び場内外の美化活動の計画と実施		実施	○	草花の栽培及び場内外の美化活動の計画と実施				

※①電気使用量削減については、個別積算メーター取付けを行い電力の内訳が詳細にわかる2016年度の実績を基準年に設定しました。

※②再資源化率については、搬入時点で選別不可物と判断したものに関しては排除して算出しています。



【社有車の燃費向上】



担 当：大久保グループリーダー

「社有車の経済的運転」による、二酸化炭素排出量の削減	達成 状況
数値目標： 13.75 km/ℓ 実績：14.21 km/ℓ 3.3%向上	○
・各社有車の給油量、走行距離を記録し、燃費データを蓄積する。	○
・適切な車のチェックを行う（空気圧、エアクリナー、オイル交換）	○
・三急運転禁止活動の実施（急発進、急ブレーキ、急ハンドル）	○



取組結果とその評価、次年度の取組内容

燃費データの蓄積・車のチェックは、毎月の運転月報で確認を行い、各自のチェックを行いました。
 体重記録式ダイエットという言葉もあるように、まずは各自の燃費を知ることからスタートできました。
 三急運転に実施は確認ができない事柄ではありますが、普段の会話や、無事故無違反で年度を終えられたことから達成できたと考えています。
 次年度はエコタイヤ・エンジンオイルなどのエコアイテムの導入を検討しています。

【収集運搬車両の燃費向上】



担 当：尾崎チームリーダー

「収集運搬車両の経済的運転」による、二酸化炭素排出量の削減	達成 状況
数値目標： 5.81 km/ℓ 実績：6.55 km/ℓ 12.7%向上	○
・給油量・走行距離を記録し、燃費データを蓄積する。	○
・車両の運用方法や法規制に関する教育を行う。	○
・適切な車両運用方法を実施する。	○
・エコドライブを推進、実施する。	○



取組結果とその評価、次年度の取組内容

今期は車両運行前点検の徹底に努めました。
 又、会社に掲示している環境かわら版（実績データ表）を利用し他乗務員の燃費も把握してもらいより燃費の意識の向上を図りました。
 その他、適時適切な給油管理の徹底。燃料が重たいので各車両の給油のタイミングを指示していくことでも目標値達成の要因だと考えます。
 次年度はドライバーの安全・環境の側面を考量してドライブレコーダーの導入を考えています。



【電気使用量の削減】

担 当：大槻課員

電気使用量の削減	達成状況
【事務所】 数値目標：33,529.4kWh 実績：31,849.7kWh 5.0%削減	○
【処理施設】 数値目標：6.75kWh/t 実績：3.87kWh/t 42.7%削減	○
・電気使用量の把握（事務所は使用量、施設は原単位）	○
・エアコン使用時の温度管理（暖房 23 度、冷房 27 度）	○
・退社時の電気消し忘れの防止	○
・冬季はエアコン、石油ファンヒーターをバランスよく使いエネルギー使用が偏らないようにする。	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

処理施設は達成。木くずの電灯とタイヤの電灯がLEDに変わり、大幅に使用量が減りました。破砕機で電力は原単位目標達成できました。

次年度も搬入量に左右され、電気の使用量は変わりますので、原単位目標で取組みを行いたいです。

又、別で目標値を設定している事務所ですが、こちらも達成しました。

冬季は受付窓口に設置している電気ヒーターと石油ファンヒーターとの併用、夏季は冷房の使用についての管理を徹底しました。室外機や屋根に放水などの対策を講じ達成しました。

次年度も電灯、エアコンの消し忘れの防止・温度管理を徹底します。

人力的対策を講じても改善が難しい状況であれば来期は新しいエアコンへの取替えも考慮していきたいと思います。



廃タイヤ電灯 LED に取替え

廃タイヤヤード担当：馬場さん



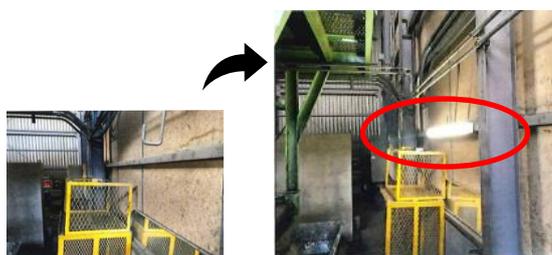
電気代削減というコスト削減はもちろんのことながら、圧倒的に違うのはやはり明るさ！

今回新規で破砕機メンテナンス用のLED照明も壁面に設置。

これによりメンテナンス時に暗くて見にくかった細かい隙間のネジ締め作業、清掃時に破砕機の下に落ちている障害物の発見もより一層わかりやすくなりました。

清掃・点検時に異物を発見・除去する事で破砕機の故障の原因となる異物の巻き込みを未然に防ぐこともできます。

以前は薄暗くてお化け屋敷のような廃タイヤ処理施設でしたが、今では床面の照り返しがまぶしいくらいです 😊



新設メンテナンス作業用LED照明



お化け屋敷から変貌を遂げた明るい廃タイヤヤード

【水の削減】



担 当：大槻課員

上水使用量の削減	達成状況
数値目標 52.9 ℓ / t 実績：41.6 ℓ / t 21.4%削減	○
・日々の使用量の把握	○
・蛇口推薦の閉め忘れ防止	△
・水道料金の推移の把握	○
・節水推奨シール・張紙等で意識を高める	○



取組結果とその評価、次年度の取組内容

毎月の上水使用量は約 1.5 倍前後と目標を上回っている月が多かったのですが、処理量原単位目標値の為、搬入量に左右されずなんとか目標は達成できました。

その他の水の使い方の分析も更に行っていく必要があります。

例えば、前年はなかったヤードの増設や 25 t トラックの増台。散水や洗車に使用する回数が昨年とは明らかに違う状況なので、数値の推移を観察していきます

【ゴミの削減】



担 当：名越課員

ゴミの削減	達成状況
数値目標：182.8kg 実績値：118.35kg 35.3%削減	○
・各個人の分別意識の向上	○
・掲示物での分別の呼びかけ	○
・ゴミ箱を色別にし、捨てる時に目で判別しやすいように改善	○
・厳しい抜き打ちチェック！	○



取組結果とその評価、次年度の取組内容

年間目標 182.8 kg に対し、実績 118.35 kg と好成績！

ゴミ箱の捨て口を少しカラフルにし、黄色のゴミ箱は軟質プラ類。青は硬質プラ類。赤は事業系一般廃棄物。目で見て分かりやすく改善し分別意識の向上改善になりました！？

次年度は、細かな声掛けや、途中経過の報告等を行いながら、更なる厳しい抜き打ちチェックも継続して行っていきたいと考えております。



ゴミ箱を覗き、分別できるものが入っていたら、私の自慢の大声で「誰が入れたのかしら～！？」と叫ぶとみんなの背筋が凍り付いています。抜き打ちチェックで意識を高めゴミ削減に取り組んでいます

【用紙類の使用量削減】



担 当：細見課員

用紙類の使用量削減	達成状況
数値目標：55,910 枚 実績：52,184 枚 6.7%削減	○
・コピー機のカウンター数の管理	○
・コピー用紙、印刷用紙枚数の把握	○
・集約・両面コピーの推進・活用	○
・裏紙利用できる書類の回収	○



取組結果とその評価、次年度の取組内容

今年度は前年度に引き続き、裏紙使用と印刷物のデータ化の推進に取り組みました。
 その結果、裏紙として使用できる用紙が少ない時期もありましたが、目標達成となりました。
 次年度に関しては、無駄な印刷物出力をしない、印刷物のデータ化。裏紙使用徹底を強化していきます。



現場ボイス

裏紙使用率や各パソコンからの印刷・複合機使用分のカウンターを掲示することで各自の裏紙使用の意識ができていたと思います。突発的な印刷物により、コピー用紙使用枚数が増加することもあります。それに伴い裏紙使用率も向上しバランスがとれていたと思います。月末にはコピー用紙使用の削減の呼びかけや掲示物で皆さんにご協力頂いた結果、目標値の達成ができました。



【灯油の節約】



担 当：濱垣チームリーダー

「灯油の節約」による、二酸化炭素排出量の削減	達成状況
数値目標 76.4 ℓ 実績：62.5 ℓ (冬場の使用のみ)	○
・灯油の使用量を把握する	○
・ウォームBizを推奨する	○
・室内（灯油使用付近）温度の計測を増やし、使用量削減に努める。	○



取組結果とその評価、次年度の取組内容

ウォームBizの推奨により、暖房を節約に努めましたがさすがに12月は寒さが厳しく 目標値を大きく超過しました。他の月は、暖冬気味で何とか凌げました。来期はエアコン更新工事があり、そちらに重きを置いて灯油節約に努めていきます。

【重機の燃費向上】



担 当：村上課員



「重機の経済的運転」による、二酸化炭素排出量の削減	達成状況
数値目標：1.995 l / t 実績：0.998 l / t	○
・アイドリングストップの実施	○
・搬入量に見合った効率の良い運用で重機を使用する	○
・重機の日常メンテナンスの実施	○
・エコドライブの推進・実施	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

主な取り組みとして、1つ目に定期的なオイル交換などの日々のメンテナンス強化、2つ目にエコ運転（不要にアクセルを踏み込まない・リリース時の際、無駄な油圧をかけない）、3つ目にオペレーターによる適正な給油管理。

この3つを徹底して頂きました。地味な小さな積重ねが結果として現れたと思われます。

次年度から燃費から総給油量に変更となりますが、次年度も達成出来る様に日々取組を行ってまいります。

【再資源化率の向上】



再資源化率を向上させ、廃棄物排出量を抑制	達成状況
数値目標：57% 実績：75.6%	○
・朝礼時に再資源化強化の呼びかけ	○
・廃棄物・有価物・選別方法に関する指導・教育を行う	○
・廃棄物の性質に見合った誘導の徹底	○
・石膏ボード（古材）の回収率向上の取組実施	○

取組結果とその評価、次年度の取組内容

年間を通して、達成する事が出来た。搬入量が多く選別に時間を費やす事が出来なかったが、作業員個々が工夫し、忙しい中でも選別しやすい様に誘導を行うなど取り組んできました。また木くず・金属くず・石膏ボードなどの重量物（比重が重い物）の回収強化などの小さな積重ねが結果に出たと思われる。

次年度からは、ガイドラインの移行に伴い目標値の見直しがかかけられると聞いています。

より一層選別強化し活動していきます。



環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無



環境関連法規への違反はありません。また、関係当局等からの違反等の指摘もなく、
過去3年間訴訟もありません。



適用される法規制	要求実施事項
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	産業廃棄物収集運搬 中間処理 一般廃棄物中間処理
計量法	計量器の法定検査、計量証明事業者報告
大気汚染防止法関連 兵庫県条例	設置届出（条例指定施設）
消防法	指定可燃物等の届出、防火設備等、点検 防火対象物等、点検届出 など
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器等（重機含む）簡易点検・法令点検
労働基準法	36 協定届出等
労働安全衛生法	粉塵濃度測定、照明設備の点検および照度測定 ストレスチェックシートの提出等





緊急事態対応訓練



【地震・津波訓練】

緊急事態の想定：地震津波の発生	
実施日：2019/9/27 PM 12:00	実施場所：(株)神戸ポートリサイクル内
参加者：全従業員	実施内容：シナリオに沿って通報訓練・避難訓練
評価：○	シナリオの変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
オリジナルのシナリオを元に地震・津波避難訓練を実施。 各自に役割担当を割り振り、有事の際は訓練を生かせるよう細かいシナリオを作成しました。	
実施状況の様子	
毎年行っている訓練です。 現場作業員・事務所従業員共にもたつくことなく迅速な行動がとれました。	 

【混載ヤードからの火災対応訓練】

緊急事態の想定：粗選別時、処理不可物混入による火災対応訓練	
実施日：2019/7/23 PM 16:00	実施場所：混載ヤード
参加者：マテリアルグループ	実施内容：散水用ホースでの消火訓練
評価：○	シナリオの変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
混載ヤードはいつでも忙しい現場環境であるが、受入時での事前チェックをしっかりと行い未然に防ぐ取組みを行っています	
実施状況	
粗選別時に火災が発生した想定で、廃棄物に散水で消火を行った。	 

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境関連法規等の遵守状況、教育・訓練の実施、内外部コミュニケーションの実施等、環境活動計画に沿って PDSA サイクルのもとすべて実施・是正が行われている。特に問題はないと判断。

しかしながら、5年目の取組を迎えるにあたり目標値の設定の変更をかける必要性があるように思います。基準年を今年度の実績として次年度は更なる創意工夫をしながら環境管理活動に取り組むことを従業員全員へ全員へお願いします。

そしてもう一点、近年台風・豪雨等自然災害が多く発生しており、大栄環境グループでは、多くの自治体と災害協定を締結し災害廃棄物処理要請に迅速に対応しています。

(株)神戸ポートリサイクルでは、災害廃棄物を輸送する海上コンテナ保管基地としての役割を担っており、「災害廃棄物処理対応に貢献」を基本方針に追加します。

又、エコアクションガイドラインが 2017 年度版へ移行します。経営と一体化した今後の環境活動「課題とチャンス」をキーワードに、より一層の活発な取り組みを期待します。SDG s の取り組みも継続して推進させましょう！

環境経営方針	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	※実績を踏まえて要見直し
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	



2019年度の環境活動の紹介



(外部コミュニケーション・みどりの委員会の活動などなど)



PISCA（企業自治協議会）の活動



清掃イベント



「働く場所をきれいにしませんか？」の呼び掛けに近隣の企業が集結し毎年行っている清掃イベント。所属している環境分科が担当しているイベントです！（22社1大学参加）



交流イベント

同じ地域で働いているのに意外と普段知り合うことのない近隣企業の方々との交流イベント。おいしい食事と楽しいイベントが盛りだくさん。もちろん、名刺交換も忘れません！



ウェブベルマークの推進

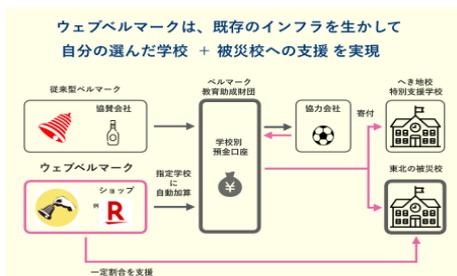


地域に貢献、ベルマーク



ネットのお買い物、学校の支援になる。

Web Bellmark



小学校に毎年従業員が集めたベルマークを寄付させていただいています。

今年はウェブベルマークでの寄付も始めました！ウェブで購入するものもベルマークがついちゃう😊

登録小学校に寄付&被災地への支援にも寄付されます！

(今年はベルマーク 884.3 点、ウェブベルマーク 965 点を港島学園へ)



場内自動床清掃車（スウィーパー）導入



海風による飛散をこのスウィーパーであっという間に一掃！現場の清掃時間も時短され働き方改革にも貢献してくれています。🌊



壁面緑化で場内緑化



新倉庫建設時にメンテナンスフリーの壁面緑化を設置。人工島である場内の緑視率UPを図っています。



災害用備蓄：救缶鳥購入

防災備蓄が社会貢献



エコアクション事務局で見つけた(株)パンアキモト様発信プロジェクト

有事・災害対策に備蓄するパンの缶詰（左上写真）
賞味期限切れの約 6 か月前に回収していただき、
それは NGO などを通じて飢餓地域や被災地にお届け
するというシステム。



きっかけは松井課長から

防災備蓄と社会貢献・食品ロス軽減推進にと実に理にかなった
素敵な取り組みに(株)神戸ポートリサイクルは賛同しています。



寄付型自動販売機の設置

誰でも簡単にその 1 本で寄付へ

普段、何気なく買っている自動販売機の飲み物で、「あなたが今買ったそのドリンクが〇〇に
寄付されています」という風に、誰もが身近に簡単に社会貢献できる「寄付型自動販売機」を
設置しました。ドリンクの売上金がそのまま寄付先へと振り込まれます。
ステークホルダー一丸で簡単に社会貢献でき、又意識の向上にも繋がる
ステキな自動販売機です！



社内で実施している【環境ラリー】の
取り組み項目としてもいれたぞ。
1本/月 購入し、さあ社会貢献じゃ！



・災害廃棄物処理 海上コンテナ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう	13 気候変動に具体的な対策を	17 パートナリングで目標を達成しよう	私たちの約束 大栄環境グループは 「災害復旧対応」 を通じSDGsの達成を支援します
-------------------	-----------------	---------------------	--

災害廃棄物輸送コンテナ保管基地

災害廃棄物処理において海上輸送コンテナが活躍します。
我々はこのコンテナのメンテナンス管理も行っております。
SDG s のゴール 9.13.17 を私たちの約束に掲げ業務に邁進
しております。



リサイクルで 未来 くる



recycle for our future